

「米の日」を 大館から全国へ

市では、八月十八日を「米の日」に制定しました。この日の意義を市民の皆さんや県内外の人たちに、より理解していただくため、八月十六日から十八日までの三日間各種イベントを展開します。家族そろってご来場ください。

米の日とは…

昔から、米を中心とした日本型食生活は、栄養面から見て理想的な食事形態だと言われています。ところが最近、この伝統的な食生活が崩れつつあります。また、米の生産調整による減反で、水田が持つ治水、治山の国土保全機能や土壌流出防止機能も崩れつつある状況です。



さらに、農産物の輸入自由化問題も重なり、日本の農業はいまだかつてない危機に直面して

め、日本の農業を守りましょう。

こんなイベント 開きます

△8月16日(水) 午前10時～午後2時

△8月18日(金) 午後1時～5時

そこで市では、市民の皆さんや県内外の多くの方々にも「米」に対する理解を深めていただき、生産者と消費者が一体となって米の消費拡大を推進するとともに、米を中心とした農業の公益性を訴え、地域農業を守り発展させようと、八月十八日を「米の日」と制定したものです。「米の日」を大館から全国に広

△8月18日(金)

△8月17日(木)～18日(金)

△8月16日(水)

内線290、294へどうぞ。

せは、市農林課 ☎493111

※「米の日」についての問い合わせ

※当日は、共催団体の出店があり

ります。ご来場の皆さんへ、各種プレゼントを用意しています。

○馬車の運行

○農業用機械試乗会

○「あきたこまち」即売会

○餅つき大会

○「米」クイズ

○「米の日」ポスター・図画・作文・標語の表彰式

○記念講演

○「米の日」ポスター・図画・作文・標語の作品展

○米の成育パネル展

○米料理パネル展

○「米の日」ポスター・図画・作文・標語の作品展

○米の成育パネル展

○米料理パネル展

○「米の日」ポスター・図画・作文・標語の作品展

○米の成育パネル展

○米料理パネル展

○「米の日」ポスター・図画・作文・標語の作品展

あなたの知人・友人に 「あきたこまち」をプレゼント

市では、「あきたこまち」の消費拡大と大館の観光PRを兼ねて、市民の皆さんの知人・友人（東北6県と新潟県在住者を除く）に、「あきたこまち」1袋(400g入)を無料でプレゼントします。

受け付け・7月20日(木)から受け付けし、先着818人(1人1袋)で締め切ります。

申込先・市農林課・各出張所
・大館市農協本所・各支所・大町店

※申し込み用紙は各窓口へ備え付けています。記載例に準じて用紙を作成し、お持ちいただいても結構です。

あきたこまちプレゼント用紙記載例	
お届け先	〒1001-□□ 住所 東京都千代田区神田1丁目1番1号 おなまえ () 様方 東京五郎様 でんわ 03(123)9876
ご依頼主	〒0171-□□ 住所 秋田県大館市字中城20番地 おなまえ () 様方 大館太郎様 でんわ 0186(49)3111

※住所は番地まではっきり記入ください。
※送料も市で負担します。

市長メモ



No.13

「米の日」

ものによっては、時の推移で評価が変わるといいます。

今、日本人の主食である「米」の価値が軽んじられ、これから先々一体どうなるのか……、不安がいつぱいです。

毎日、主食として無意識に食べているコメは、八十八回(種類)の労働で作られるから「米」というそうです。この「米」の原点を考え、見直す運動として、全国にさきがけ制定したのが、当市の「米の日」です。

「私つくる人」「あなた食べる人」という関係だけではなく、共に「米」について話し合い、考え、日本の農業をより発展させる努力が大事だと思います。

「米」が日本の文化や歴史、生命の根源である自然と国土保全に果たしている役割を忘れてしまつてはいけません。

毎年、日々新しい張りつめた気持ちで「米の日」八月十八日を考える日に行きましょう。

米の価値